

令和7年度 第6回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 8年 2月 13日																													
		記載者	川添 真希																													
議題	1. 交流・行事・地域活動の実施状況 2. 利用者状況・サービス実施状況 3. 事故・苦情・感染症・相談受付報告 4. 2025年度事業所評価 5. 地域の現状等情報交換・助言など																															
日時	令和 8年 2月 10日（火）10：00～11：00																															
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 グループホームなごみの郷可部 三入・可部地域包括支援センター 看護小規模多機能ホームやすらぎ  広島市民生委員 ご利用者家族代表	川本 祥平 廣森 靖司 片山 崇紀（欠席） 川添 真希 山本 薫 大道 麻衣子 藤原 照夫（欠席） 植田 美鈴																														
議事	1. 交流・行事・地域活動の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>お誕生日お祝い 12月 1名、1月 4名</li> <li>虹山カフェまちの保健室よりケア帽子の寄贈</li> <li>ひふみ歌声の会に参加（利用者2名）</li> <li>クリスマス、お正月イベント</li> </ul> 2. 利用者状況・サービス実施状況 <table border="1" data-bbox="400 1337 1355 1657"> <thead> <tr> <th></th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均要介護度：3.9（男性：39.3%、女性：60.7%）</li> <li>新規利用者・終了者 <table border="1" data-bbox="400 1765 1144 2134"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規利用者</th> <th>終了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>						要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	12月	3	5	5	11	9	1月	1	7	5	10	4		新規利用者	終了者	12月	6	10	1月	6	4
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																											
12月	3	5	5	11	9																											
1月	1	7	5	10	4																											
	新規利用者	終了者																														
12月	6	10																														
1月	6	4																														

<新規利用者>

・ターミナルケア・医療的ケア・退院直後

<終了者>

・ご逝去 10名 サービス移行 4名

2F（賃貸住宅：ラッシュールメゾンやすらぎ）

平均入居者数：12月 12.6名 1月 11.7名

⇒3F（看護小規模多機能）

自宅平均利用者数：13名

（うち 3名特養入居待ちのため連泊中 運営推進会議において承認）

・ サービス実施状況（1日平均利用者数、回数）

	平均登録者数	通い平均定員18名/日	泊り平均定員9名/日	訪問介護	訪問看護
12月	26.6	14.8	5.3	18	24
1月	23.0	12.6	4.8	18	23

・ 利用者性別割合：男性 40.9% 女性：59.1%

・ 平均年齢 80.8 歳（67歳～103歳）（令和8年1月31日現在）

3. 事故・苦情・感染症・相談受付報告

	インシデント	アクシデント	苦情	感染症
12月	3	8	0	0
1月	10	4	0	0

※転倒 7件、与薬 2件、破損 1件、外傷 3件、窒息 1件、

その他 2件 事故レベルⅡ 6件、レベルⅢ 2件

発生状況・対策報告（レベルⅢ 2件）

報告：レベルⅢ 2件報告

①（状況）

巡回訪室すると利用者がベッド下でズボンを脱ぎ仰向けになって寝ている。センサーマットは設置されていたが、ベッド下に入り込んでいた状況。声をかけると、「外で寝ています」と言われる。

寝ている場所から離れた場所に、ズボンやタオル、ごみなどがあり本人へ問うと「歩きました」と答える。バイタルサインや怪我の有無を確認後 2人でベッドへ移動の際、体の痛みを訴えオプソ 5mgを1包内服投与した。

(がん末期の利用者であり主治医より疼痛時指示として、医療用麻薬の指示あり活用)

(対策)

日中→ベッドを低床としセンサーマットの設置

夜間→ベッドを低床、衝撃吸収マットレスの上にセンサーマットを設置とし対策を周知徹底した。

② (状況)

訪室するとベッドの出入り口と反対側に設置してあるベッド柵を乗り越え、床に転落している状態を発見した。

右手背に2 cm程度の切り傷あり。乗り越えたときされるベッド柵、布団、床に血液が付着していた。その他体調に変化がないことを確認し介助により再度ベッドに休んでもらった。

(対策)

壁側にベッドを寄せ誤って転落しない程度の位置へ配置した。

自宅のベッドと同じようにベッドの配置を確認した。

夜間は靴下を脱ぐようにした。

・ 相談、受付報告

12月 7件、1月 6件

内容

ターミナルケア、退院後在宅復帰サポート、医療的ケア管理を受けながら療養生活への移行

#### 4. 令和7年度事業所評価

・職員全員で自己評価を行ったのち、事業所の自己評価について会議を開催し実施した。この度の運営推進会議にて意見交換、助言をいただいた。

・事業所評価の結果報告の説明・実施(評価結果別紙参照)

前年度同様に地域活動への参加や運営推進会議の内容について、未経験または未知である傾向であった。これらを中心にご意見をいただいた。

##### 運営推進委員からの助言・評価

議題：地域活動の参加や運営推進会議での内容について、若干名の職員に周知しきれていない

・運営推進会議など今後職員も地域の状況が知れるきっかけ作りは、継続することはよいことである。長年いる職員には理解はできていると感じる。

・事業所としての参加意義や目的を明確にすると、職員へも伝わりやすいのではないかと。

・事業所評価を行う上で、職員個人のとらえ方に違いがあるようだ。

勤続年数や経験により評価は変わるため、職員の年齢など属性を評価分析するとよい。

・自事業所の取り組みとして事業所周囲の清掃活動を輪番制で取り組んでいる。継続するうちに町内会の方から催しの参加情報など入るようになってきた。

・地域の方からの声として、自分や家族に介護が必要となった場合には、どこに相談をすればよいか情報窓口がわからないことがある。

施設のアピールポイントを明確にすると交流の幅がひろがるのではないか。

・町内会行事に参加していることは助かる。

**【連絡事項】**

・ 令和 8 年度運営推進会議委員委嘱について

委嘱状を次回運営推進会議開催前（3 月中旬）に郵送またはメールでお知らせ

・ 2026 年まちとも健康フェア開催日決定

令和 8 年 4 月 26 日（日曜日）

・ 次回の運営推進会議

令和 7 年 4 月 14 日（火）10：00-10：30

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上